

○松田委員

リニア中央新幹線についての質問をさせていただきます。

この委員会でも何度か御質問されたみたいですが、二〇二七年の開業を目指すリニア中央新幹線であるわけでございます。これは、一民間がやるという、だけれどもビッグプロジェクトであります。ですから、一民間とはいうものの、やはり国がしっかりと見きわめていかないけませんし、事業の進捗もしっかりと報告を受けて推し進めていかなくてはならないと思います。

私は、もちろんリニアに反対するものではありませんけれども、やはり一番、私も経験があるんですけども、何か大きなプロジェクトを動かそうと思ったときに、どこかで何か問題があったときに、また逆戻りして、かえって時間がかかったり、糸がほつれてしまったりぐちゃぐちゃになってしまったり、時間的にも、もっと早く情報も開示しておけばこんなことはなかったのになとか、いろいろなことが想定されると思うんです。

ですから、私は、反対の立場とかそういうことではなくて、この事業が順調に進むためには、しっかりとやはり地域住民の方にも説明をしないといけないと思いますし、また、これは南アルプスの下をずっと通っていくわけですから、地下水も含めて、日本の国民の皆さんにもしっかりと工事の進捗も情報を流さなくてはならない、こう思っています。

例えば、この工事によって、今ちょっと大量の水、地下水というお話をしましたけれども、これが進むに当たっていろいろな事故というのが想定をされるのではないかな、こう思うんです。どういう事故とか、事故と言ったらあれですけども、どういう案件をこの工事によって想定されているのか、少しお聞きをさせていただきます。

○篠原政府参考人 お答えを申し上げます。

今御指摘の水への影響でございますけれども、大深度など、トンネルを掘って工事を進めてまいります。そういう中で、関係する水系において水が減少する、その利水、治水に影響するといったような影響も懸念されますので、そのあたりをしっかりとモニタリングなどをしながら当たっていく必要がある、そういうふうに認識をさせていただきます。

○松田委員 一緒に質問させていただいたらよかったですけれども、例えば、トンネルを掘っていくのには、いわゆる残土というのが出てきます。地域の説明でいきますと、あるところでは一分間に一台ぐらいダンプが通るんですよという地元説明もあったように聞いておるんですね。毎日、一分間に一台ダンプが家の前を通られたら、これはどうなるんだろうなと。いろいろな病気をされている方や赤ちゃんがいる方は、それは本当に地域住民にとっては物すごく心配になることだと思いますし、今も申しましたように、工事の進捗、どんどん進んできたときに、例えば地下水に何かがあって川が枯渇してしまう、枯れてしまったり、そういった状況も想定をされると僕は思うんです。

だけれども、今ずっと説明会の資料なんかを少し見せていただきますと、絶対安心だ、心配しなくてもいいよというような、終始そういった説明に至っているわけですが、本当にこれは心配しなくていいんですか。もし事故が何かあったときはどこが責任を持つのか。いろいろな想定で、工事だけのことじゃなくて、この事業に関する事で、いろいろな事故が起きたときにどこが責任を持つのか、所在をはっきりしておかないといけないと思うんです。

今回の原発の話を引き張って言うつもりはないんですけども、もう、何か起きたときにばたばたして、お互いがボールを投げ合うようなことはしてはならないと僕は思うんですけども、その辺のところはいかがでしょうか。

○篠原政府参考人 お答え申し上げます。

責任の所在でございますけれども、まず第一義的には、この工事を実施いたしますJR東海が責任主体ということではございます。ただ、私も国土交通省も、JR東海の工事実施計画を認可し、また、認可の際に、国土交通大臣から直接JR東海社長に対しまして環境への保全に努めるようにと指示をいたしております。そういう意味で、国土交通省も、しっかりとJR東海を指導監督しながら、環境の保全に配慮した工事が行われるように努めてまいりたいと考えてございます。

○松田委員 一つ、僕は、例えばどんな事故を想定されていますかということをお聞きさせていただきました。どんな事故を想定されているんでしょうか。いろいろなパターン、恐らく、何にも想定していなかったということになったら、こんな大きい事業が今から進んでいくんですから、そのときになったときに考えますわというようなことでは、決して地域住民の方はゴーは出さないと思うんですね。その辺のところはいかがでしょうか。

○篠原政府参考人 影響として想定されるものということをございますけれども、例えば水源につきましては、川の流量が減少するといったようなこと、あるいは水の質が悪化するといったようなことが想定はされます。それから、建設残土のお話でしたが、この運搬に際しまして生活環境への悪影響といったことも懸念をされるところでございまずので、その辺の配慮が十分必要だと思っております。

○松田委員 今のお話を聞いて、想定内のいわゆる事故とかそういうものでしか今は考えていないというふうには、今の答弁を聞いたら、そういう感じがいたします。やはり、本当にもっといろいろな事故を想定していただいて、考えておいてもらう方がいいと思いますよ。そのときにばたばたしても、本当に、かえって住民の方や国民の方に不信をといてしまいませんか、そういうことを持ったら、せっかく名古屋まで行って、例えばそこから先、大阪までというときに、逆にそれがストップになったりとかいうことになると僕は思うんですよ。ですから、そこはしっかりと頑張ってくださいと思います。また、これは工事がもうそろそろ、それぞれが発注をされていくと思うんですけれども、発注して、計画を立ててから、残土はここへ放りますよとかそういうことを全部済ませてから住民の方にお知らせをするんじゃないかと、その都度その都度、わかったときにきちっと説明をするべきだと僕は思うんですけれども、その辺のところ、指導していただけるんでしょうか、どうでしょうか。

○篠原政府参考人 お答え申し上げます。まず、いろいろなことを想定すべきだという点につきましては、今、いろいろな分野の専門家の方の知見も伺いながら、委員会もつくりながら、しっかりといろいろな分野の想定を広めて対応しておりますが、引き続き努めてまいりたいと思います。それから、住民の方への御説明でございますが、まさに私どもも事前に十分に説明をして丁寧に理解をいただくことが大事だと思っておりますので、今、これまでに、沿線自治体に五十一回の説明会、さらには自治会レベルでは百九十二回というふうな説明会を重ねております。必ず工事の前にしっかりと御説明ができるように、私どもも指導してまいりたいと考えてございます。

○松田委員 責任の所在も、はっきりした御答弁はいただけませんでした。これは、お答えはいただきませんが、大臣、やはり国家的な事業ですから、環境という面では非常に皆さん関心がありますし、また、日本の南アルプスというのは一つの大きな財産ですから、その地下の水脈とかいうのは、これは初めての事業ですから、誰も見たことがない、やったことがないわけですから、逆に言ったら、いろいろなことを想定しなければいけないというふうには僕は思いますので、ぜひ、想定ができたりとか何かあったら、またきちっと住民の方にお示しをいただきたいと思っております。